

これからの学校と地域 第3号



読み聞かせ会 大成功！ 保護者ボランティアの力で子どもが笑顔に！！

矢板小学校では、「読書で心豊かな子どもを育てよう」という目標を学校、家庭、地域の方と共有し活動を進めています。令和5年1月20日（金）に3名の保護者による読み聞かせ会が行われ、約120名の子どもたちが参加しました。「お父さん・お母さん」による読み聞かせで、いつもと違う雰囲気の中、子どもたちは真剣なまなざしで聞いていました。

最初は緊張しましたが、子どもたちが真剣に話を聞いてくれる様子に少しずつ緊張が和らいでいきました。ページをめくるごとに、子どもたちが反応してくれるのがたいへんうれしかったです。自分の子どもも聞きに来てくれていて、自宅でも読み聞かせをしてあげようと思いました。(藤田 りかさん)



読み聞かせは思っていた以上に緊張しました。子どもたちの本への興味、読みやすさなど選書の大切さを感じました。後日、参加した児童から声をかけられました。このように地域のコミュニティーが広がるのだなと思いました。(千野根 友和さん)



「おでんさむらい ちくわのまき」という本を読みましたが選書が難しかったです。心を込めて臨場感たっぷり読もうと心がけました。実施してよかったです。皆さんにもこの体験を味わってもらいたいです。(菊地 昭義さん)



第3回連携会議を開催しました！

今年度の読書推進活動では、「お父さん、お母さんによる読み聞かせ」と「図書事務ボランティア」を実施しました。読み聞かせ活動では3人の保護者が、図書事務ボランティアには14人(保護者12人・地域の方2人)のご協力をいただきました。それらの活動の振り返りの場として、令和5年1月25日(水)に連携会議を開催しました。

図書・読み聞かせボランティア募集について

- ・PTA運営委員会でPRしてみてもいいでしょうか。
- ・矢板小学校OBに呼びかけてみては。
- ・学校ホームページでの発信もできそうですね。
- ・見学だけでも大丈夫とアピールしてみてもいいでしょうか。



- ・このような活動を発信する場は大切ですね。
- ・読み聞かせは図書事務ボランティアの方との連携が大切になってきますね。
- ・地域の方で図書事務にかかわるアイデアを持っている方がいるようです。

地域連携マイスターより

とてもよいテーマで取り組んでいます。積極的に意見を述べている皆さんの様子から、「子どもの学び」から「大人の学び」に変わっていることがうかがえました。学校・家庭・地域が夢を語る場、いっしょに汗をかく場を大切にしてほしいと思います。



- ・読み聞かせで子どもたちは、好きな場所で友達とリラックスして聞いていましたね。環境づくりも大切になってきますね。
- ・読み聞かせで学校に行くことで、子どもたちの様子がわかるというメリットがありました。

矢板小学校 図書ボランティア募集中！



読み聞かせボランティア

- 時間：昼休みや給食の時間帯など
本：図書室の本でも、読み聞かせたい本でも。本のご相談にのります。

図書事務ボランティア

内容：図書の整理
本の修繕
しおりやポスター作り等



読書活動をとおして子どもたちを「笑顔」にする活動に参加してみませんか？

連絡先
矢板市立矢板小学校
TEL 43-0043
担当：佐藤

子どもたちの様子です！



今日はどんな本を読んでもくれるのだろうとワクワクして教室で待っています。そして真剣に耳を傾けながら、本の世界に浸っています。



図書館に本を借りにくる子どもが増えてきました。自分が読みたい本を熱心に探す様子も見られます。また、図書館を使用する際のマナーもしっかり守られています。今年取り組んできた成果が少しずつ出ているように感じられます。

来年度も地域の方や保護者の力をお借りして、子どもたちにもっと本に親しんでもらいたいという願いのもと、読書活動を進めていきたいと思っております。